

「分岐点～ぼくらの黎明期～」ご案内

3月公演『きみはいくさに征ったけれど』は、おかげさまで無事千秋楽を迎えることが出来ました。ご覧いただいた方々から温かい感想やご意見をいただくことができました。12月から始まる全国巡演に向け、さらに舞台をより良いものにして行きたいと思っています。

そして、私たちは5月公演『分岐点～ぼくらの黎明期～』の準備に入っています。2014年に近未来劇『みすてられた島』、そして2016年に武器製造の下請け企業を描いた『雲ヲ掴ム』と、現代を鋭く照射した作品で作・演出をお願いした中津留章仁さんの書き下ろしとなります。当初タイトルを『こんな国に誰がした?(仮題)』で発表して来ましたが、正式に『分岐点～ぼくらの黎明期～』としました。

3月に入って「森友問題」での財務省の公式文書改ざん問題が浮上し、今の政治や行政がいかに歪められているかが白日の下に晒されました。このケースそのものはかなり特殊なものとしても、経済、産業、教育、医療、福祉、地域社会など、あらゆる問題で日本社会が危機、あるいはそのとば口に立っていると言えるでしょう。また、地球レベルでの気候変動、環境問題に加えて、富の集中と戦争による破壊の連続があり、地球を守るという点でも待ったなしの状況にあることは確かです。ただ一方で2011年の東日本大震災、福島原発事故で私たち自身の暮らしぶり、生き方が問われたことで、再生エネルギーや自然循環、地域産業を大切にする試みが、日本のあちらこちらで始まり、また様々な問題で国会や官邸前に多くの人々が集合し、声をあげ始めたなどの新しいうねりが生まれています。未来が展望できるとすれば、それらの動きの中に、私たちの“黎明期”と名付けられるものがあるのではないかと。それが今回の作品作りの原点になっています。

『みすてられた島』では、否応なく政治や社会に向き合わざるを得なくなった人々を描きましたが、この物語はよりポジティブに社会に関わろうとする二つの家族と周囲の人々を約二十年の時間軸を挟んで描き出します。一人は都会での経済的な成功を求め、一人は自然循環に基づく新しい共同体づくりに未来を求めます。これから予想される経済危機や気候変動による自然災害、さらには戦争などを乗り越える人智は、どこにあるのか。それはごく少数の大資本家、政治家、エリートでなく、21世紀に入って見直しが始まったお互いを思いやる民衆の生活の知恵の中にあるのではないかとという仮説でもあります。

中津留作品は『みすてられた島』以降、劇団民藝、東演、青年座など数多くの劇団で上演されていますが、その特徴は現実社会の矛盾を鋭くえぐりながら、その矛盾の中でうごめく人間の生き方を問い、その関係を熱く描く人間ドラマにあります。今回は機知にとんだ台詞が散りばめられたSF社会派コメディとでも呼ぶべき作品ですが、葛西和雄、藤木久美子、広戸聡などのベテラン陣を中軸に据えつつ、中堅、若手総勢15名の演技陣が交錯します。

私たちの日常に潜む未来への萌芽、私たち自身の居場所は私たち自身が作るものだという原点を探る機会に、また、今進行する危機の実相を見つめ直す機会になればと思っています。ぜひ劇場へ足をお運びください。

5月公演 「分岐点～ぼくらの黎明期～」 チケットをお申込みの方

※友の会にご入会いただける方は別紙にご記入ください。

↑※必ずご記入ください↓

フリガナ			No. (ラベルの下の番号をお持ちの方はご記入ください)	お知り合いの劇団員
お名前			-	-
ご送付先	〒 -			
お電話			昼間の 連絡先	
メールアドレス	メールニュースの配信を希望されない方は✓を入れてください。 <input type="checkbox"/>			
備考				

「分岐点～ぼくらの黎明期～」 チケットのお申し込み

(料金は消費税込み)

公演日	曜日	開演時間	一般	U30(30才以下)	合計
			5,150 円	3,100 円	
5/		:	枚	枚	枚

※障がい者割引、団体割引、中高生シートがあります。こちらは直接劇団までお電話でお申し込み下さい。

友の会(Bコース)にご入会いただきますと、定例公演をご招待で、スタジオ公演を特別割引料金でご覧いただけます。この機会にぜひご入会ください!

- お申し込みを受領後、チケット、郵便振替用紙を郵送いたします。届きましたら必ず日時などをお確かめください。なお、お申し込みの受領確認のご連絡は、チケットの発送をもって代えさせていただきます。
- お申し込み後、7日過ぎても、チケットが届かない場合は、お手数ですが劇団までご連絡ください。
- お申し込み後のキャンセル、お取り消しはできません。ご来場になれない場合でも代金はお支払いいただきますので、ご了承下さい。
- 上記の個人情報は「個人情報保護に関する法律」に基づいて厳重に管理し、劇団からのダイレクトメール等の送付に利用させていただきます。

お申し込み
お問い合わせ
 秋田雨雀・土方与志記念 **青年劇場 チケットサービス** TEL:03-3352-7200
 〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-9-20 問川ビル 4F URL:<http://www.seinengekijo.co.jp/>



桜の便りも聞かれるようになりましたが、いかがお過ごしでしょうか。3月公演「きみはいくさに征ったけれど」はおかげさまでたくさんの方にご覧いただき、「竹内浩三」を初めて知り、大いに興味を持った」「若い人にぜひ観て貰いたい作品」



など好評を得て、今秋から始まる学校公演への良いスタートを切ることができました。みなさま、本当にありがとうございました。

さて5月公演は「分岐点～ぼくらの黎明期～」。「みすてられた島」「雲ヲ掴ム」で現代社会に鋭く切り込み、大きな話題を呼んだ中津留章仁氏の社会派コメディ第三弾です。“分岐点”を辞書で引くと、「道路の分かれ道」などのほかに「選択しなければならないポイント」と出てきます。また“黎明期”は「新しい時代・文化が起ころうとする時期」とあります。現代の社会は、経済優先の風潮が進み格差が増大、政権の不透明な動きは大きな不信を生み、地球規模では温暖化など環境問題も待ったなしの状況です。そんな中、これまで政治に無関心だった人達が国会前で声を上げ始め、各地で自然エネルギーへの転換を模索する試みなど新しいうねりも芽生えています。今回の物語は、都市部と地域社会、それぞれの場所で懸命に生きようとする二つの家族とそこでごめく人間模様を、現在から20年間くらいの先を見通す時間軸の中で描いていきます。

「選択しなければならないポイント」「新しい時代・文化が起ころうとする時期」は今であり、危機を乗り越え、未来を創る知恵は私たちの日々の行動の中にあるのではないのでしょうか。皆さんとご一緒に未来への展望を語りあい、その未来に続く“今”を考え合える機会になればと思っております。またベテランから若手までの多彩な俳優陣による、中津留章仁氏ならではの機知に富んだ会話の妙もぜひお楽しみください。発売日直前のご案内となってしまう大変申し訳ありませんが、どうぞお誘い合わせでご来場くださいますようお願い申し上げます。

会員の皆様(Z、A、Bコース)

5月「分岐点～ぼくらの黎明期～」はご招待公演です。

発売開始:3月26日(月)

申し込み締め切り日:5月11日(金)

※この期日を過ぎますと、満席の場合にお席を確保できない場合がございます。お早目にお申し込みください。

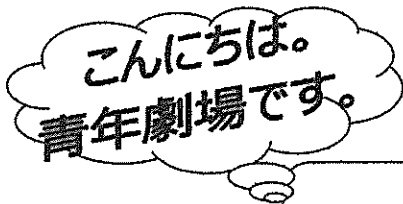
「分岐点～ぼくらの黎明期～」観劇後の交流会

5月20日(日)14:00 開演の部・終演後、近くのお店にて

会費:3,000円～3,500円程度

☆参加ご希望の方は予めお申し込みください。

👇裏面に「春のつどい」のお知らせがあります!👇



青年劇場の演劇公演
分岐点～ぼくらの黎明期～
 中津留章仁＝作・演出

青年劇場の大嶋恵子です。
 5月公演「分岐点～ぼくらの黎明期～」に出演します。
 「もっとまともな社会を、私たちの居場所を、私たち自身が作る」。
 今回の作品はこのような人たちの背中を押し、相互につながりきっかけになるものと
 考えています。ぜひ、劇場にお越し下さいますようお願いいたします。

青年劇場 担当：大嶋恵子

FAX 申し込み用紙 03-3352-9418 (担当：大嶋恵子)

5月 日 ()		昼の部		夜の部	
枚数	●一般券 (5150円)	枚	●U30(30才以下) (3,100円)	枚	●合計 枚
お名前					
職場	TEL				
ご送付先	〒 TEL	FAX			

- ★団体割引あり (5枚以上まとまりますと、1枚4,650円)
- ★中高生シート (各ステージ10席限定・劇団のみ受付・前売りのみ 1枚1,000円)
- ★お電話でのお問合せ・お申し込みも可能です。
 青年劇場チケットサービス 03 (3352) 7200

(お申し込み) 大嶋 メール nana_chicchi_mill@docomo.ne.jp
 電話 090-3095-3309

秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場 第119回公演



2018年5月18日(金)～27日(日) 紀伊國屋ホール

葛西和雄 藤木久美子 広戸聡 湯本弘美 大木章 大嶋恵子 島本真治 奥原義之 大山秋
岡山豊明 中津原知恵 星野勇二 沼田朋樹 池田咲子 前田みどり

美術=乗峯雅寛 照明=宮野和夫 音楽=高島洋 音響効果=佐藤こうじ 衣裳=宮岡増枝
舞台監督=青木幹友 宣伝美術=windage. 製作=福島明夫

3月26日(月) チケット前売開始! 青年劇場チケットサービス TEL.03-3352-7200 ticket@seinengekijo.co.jp

<http://www.seinengekijo.co.jp/>

経済(マネー)を絶対だと信じ都市部で働く男と、
都市部を捨て地域社会と共に生きようとする男の、
数奇な運命を描いた意欲作。

分岐点

～ぼくらの黎明期～

あなたは、どちらの生き方を選びますか?



葛西和雄



藤本久美子



広戸聡



湯本弘美



大木章



大嶋恵子



島本真治



奥原義之



大山秋



岡山豊明



中津原知恵



星野勇二



沼田朋樹



池田咲子



前田みどり

人は何を求めるのでしょうか。ひとつはお金です。お金は明日の生活の安定を約束してくれます。もうひとつは幸福です。自分の、家族の、そして周りの人々の幸福を願います。ではお金と幸福の、どちらが本質なのでしょうか。これをイコールと考える方も多いでしょうが幸福の先にお金があると考えたよりはお金の先に幸福があると考えたのがしっくりくるような気がいたします。人は幸福を求め、そのためにお金が必要なのです。

一方で、日本は世界でも有数の経済先進国ですが、世界の幸福度ランキングは上位ではありません。この事実を私たちはどのように受け止めればよいのでしょうか。このまま突き進んでゆけば、やがてお金を蓄えることが出来て私たちに幸福が訪れるのでしょうか。あるいは、何か方針や価値観を変えなければずっと幸福が訪れることはないのでしょうか。

都市部に生きる男と、地域社会で生きる男。

今回は、この二人の人生を見つめながら幸福について考えてみようと思います。

中津留章仁

2018年5月18日(金)～27日(日)

5月	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
14:00	-----●	-----●	-----●	休	-----●	-----●	-----●	-----●	-----●	-----●
18:30	-----●	-----●	-----●	演	-----●	-----●	-----●	-----●	-----●	-----●
19:00	-----●	-----●	-----●	日	-----●	-----●	-----●	-----●	-----●	-----●

紀伊國屋ホール

TEL.03-3354-0141

JR新宿駅東口徒歩5分、地下鉄各線新宿三丁目駅B7・B8出口
紀伊國屋書店新宿本店4階

3月26日(月)チケット前売開始!

一般=5,150円、U30(30才以下)=3,100円

中高生シート=1,000円(各ステージ10席限定・劇団のみ受付・前売りのみ)

当日券:一般=5,500円、U30(30才以下)=3,400円

※料金はすべて消費税込です。

◎全席指定 ◎団体割引・障害者割引あり(劇団のみ受付)

◎車椅子でご来場の方は準備の都合上、必ず劇団までご連絡ください。

青年劇場チケットサービス

TEL.03-3352-7200

ticket@seinengekiyo.co.jp

http://www.seinengekiyo.co.jp/



ホームページ

チケットぴあ TEL.0570-02-9999 [Pコード 485-753]

キノチケットカウンター(店頭販売のみ) 新宿東口紀伊國屋書店新宿本店5F(10:00～18:30)

キノチケオンライン https://www.kinokuniya.co.jp

青年劇場 2018年東京公演

★7月「宣伝」

高田保=作 大谷賢治郎=演出

「動員挿話/骸骨の舞踏」「原理日本」に続き、大谷賢治郎氏と紡ぐ日本の近代戯曲シリーズ第三弾。1929年初演、戦争の本質を鋭く突いた秀作がいま蘇ります。

・7月6日～16日 青年劇場スタジオ結 (YUI)

★9月「キネマの神様」

原田マハ=原作(文藝春秋刊) 高橋正岡=脚本 藤井ごう=演出

幅広い世代に人気を博す原田マハ氏の原作を、自他共に認める映画通の高橋正岡氏が脚色。演出は「郡上の立百姓」などで第19回千田是也賞を受賞した藤井ごう氏。

・9月13日～23日 紀伊國屋サザンシアター-TAKASHIMAYA

・9月25日 府中の森芸術劇場ふるさとホール

青年劇場友の会

2018年Bコース会員募集!

会費 一般=8,700円、U30(30才以下)=5,000円

招待公演 5月「分岐点～ぼくらの黎明期」、9月「キネマの神様」

後援公演 7月「宣伝」

お問合せは友の会へ

TEL.03-3352-7200